

健康福祉委員会で質問しました！



動物殺処分ゼロに向けて

野良猫の去勢・不妊手術の代金の工面に、ボランティアさん方はご苦労されています。補助、ふるさと納税、クラウドファンディング等での資金面の支援を求めます。

県の答弁

県に対する寄付の申し出は、協力団体として登録しているボランティア団体を紹介し、団体へ直接寄付頂くよう依頼している。

ホームページを手直し、寄付金を募集している協力団体を積極的に紹介していきたい。



事業所内保育所の設置促進を

事業所内保育所を設置する際の補助制度が拡大し、設置を検討したい企業が増えてきています。企業が検討しやすいよう積極的な情報提供を求めます。

県の答弁

セミナーを開催して、事業所内保育事業や企業主導型保育事業に関する説明を行った。経営者等が参加するシンポジウムで啓発パンフレットを配布するとともに、経済団体主催のセミナーで関係部局と連携して行うなど企業にPRしていく。



認可外の保育施設と

行政の連携をしっかりと

保育所の死亡事故の7割が認可外保育施設で発生しています。行政の立ち入り調査の機会を活かし連携を図って頂きたい。市町村への権限移譲も検討して欲しい。

県の答弁

立ち入り調査は、原則としてベビーホテルは年1回以上、その他の施設は3年に1回以上計画的に実施。岩倉市と豊明市には条例で権限移譲している。権限移譲交付金の算定については金額の妥当性を確認する。



障害者優先調達推進を

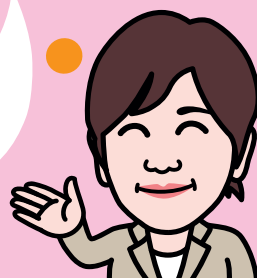
平成25年に障害者優先調達推進法が制定され、地方公共団体は福祉関連施設から優先的に物資等調達する努力をする必要があります。県として積極的な取り組みを求めます。

県の答弁

県としては毎年前年度実績を上回ることを目標に、優先調達の推進に取り組んでいる。27年度実績が約600万円の前年度を約120万円下回ったため、今年度は年間1000万円以上を目標とし取り組んでいる。優先調達の好事例を紹介するなど優先調達の推進を着実に図ってまいりたい。

りえのひとこと

音楽グループが収益の一部をボランティア活動の資金に寄付をしたり、東京都知事選挙のマニフェストに入っていたり、動物の殺処分ゼロに向けて、社会的な機運も高まっています。殺処分ゼロに一番大事なものは、飼い犬や飼いネコなどを飼えないからと捨てないことです。ペットを飼うときの私たちの責任をしっかりと考える必要があると思います。



ご意見・ご感想などをお寄せください

●ホームページ

<http://www.ootakerie.jp>

●発行 おおたけりえ事務所 〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2 TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

愛知県議会議員

おおたけりえ



県政レポート vol.008

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

本会議にて農業など地域の課題を質問！

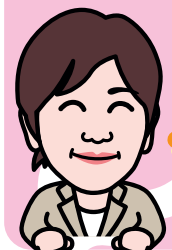
～農業振興・中小企業・福祉・学校について取り上げました～

皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は、12月議会では本会議場での登壇一般質問の機会を得、「東三河の農業振興、中小企業の人材育成と確保、音響信号の促進、県立学校の老朽化対策」について、質問いたしました。農業振興については、大村知事より答弁を頂き、全国屈指の農業生産地域である東三河の重要性について言及され、農業振興に全力で取り組むと決意を述べられました。新規就農者、農業後継者など、今後の農業を担う担い手の確保・育成に積極的に取り組まれることを期待します。

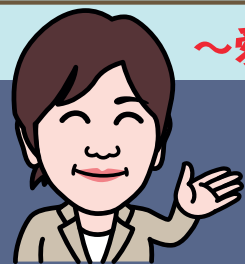


一般質問の議会傍聴に、豊川からバスで応援に来て頂き、大変励みになりました。盲導犬ゼウスも議場傍聴席に入りました（県議会史上2例目）。今回の一般質問は、住民の皆様から頂きました貴重な声を地域の課題として取り上げました。

これからも皆様の声を大事にして前向きに取り組めますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。（なお、農業以外については3ページをご覧ください。）



↑議会傍聴に来ていただいた皆様 本会議場にて



～愛知県政全体のトピックスをご報告します～

「認知症に理解の深いまちづくり」等のための補正予算が成立しました！

補正予算金額 一般会計 207 億 815 万円、特別会計・企業会計 2 億 1161 万円

補正後合計 3 兆 4700 億 4900 万円

1 オレンジタウン構想の推進に関する調査 3,500 千万円（新規）

平成 24 年には愛知県内に 23.7 万人みえる認知症高齢者の数が、37 年には 40 万人に増えるという推計が出ています。認知症の人の意志が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができることを目指した、認知症に理解の深いまちづくりのモデルづくりのため、調査を実施します。



2 児童養護施設や保育施設の防犯・事故防止対策 2741 万円（新規）

児童養護施設や認可外保育施設へ非常通報装置や防犯メラの設置など安全対策を進めます。

3 障害者グループホームの設立と設備整備、防犯強化 6650 万円

グループホームの整備、障害者支援施設の防犯カメラ、スプリンクラー整備を進めます。

4 農林水産物の競争力強化 32 億 2304 万円

将来にわたる農林水産業の振興を図り、農林漁業者の持続的経営が確保されるよう、「あいち型植物工場」研究施設の改修、統合環境制御装置、植物生育補光装置、環境モニタリング機器導入、林業基盤づくりのため木材加工施設の整備、間伐・林内路網整備等。

5 あいち航空ミュージアム

展示コンテンツ整備 8 億 8810 万円

県営名古屋空港に整備中。来場者が航空機の歴史や仕組み等を参加・体験しながら見学や学習できる施設となるよう整備。平成 29 年 11 月 30 日オープン予定。



意見書を国に提出しました 車両運転中の「ながらスマホ」対策の強化を！



県内で、スマートフォン向けゲームアプリ「ポケモン GO」をしながら運転したことによる死亡事故が 2 件も起きています。2 度とこのような痛ましい事故が起こらないように、対策の強化を求める意見書を愛知県議会全会一致で可決し、国に意見書を提出いたしました。

本会議登壇で質問しました！ ～内容をご報告します～

中小企業の人材育成・確保の支援を！



県内企業の 99.7% が中小企業であり、働く人の 70.4% が中小企業に勤めているため、中小企業の成長が地域の成長につながります。東三河全体で人材育成する取り組みも始まっています。地域と連携した人材育成支援の充実を求めます。



県では、中小企業の人材育成を支援するため、今年度から「産業人材育成センター」を開設し、コーディネーターが県内各地の中小企業をまわり、県の人材育成支援策の活用を促すとともに、熟練技能者派遣のサポート等行っている。東三河地域の取り組みも、東三河県庁が当初から関わっている。相互の連携を図り進めていきたい。

県の答弁

音響信号の積極的な設置を！



視覚障害者は、交差点で車が自分の近くを通った時に、自分の前を通ったか横を通ったかでどちらの信号が青になっているかを理解し横断しています。非常に危険であり、音響信号があることで安心感は大きく違います。子どもや高齢者の安全対策にもつながります。音響信号を要望する窓口を明確にして、積極的に設置をして欲しいと思います。

本年 11 月現在で 1303 基の信号機に整備しております。周辺の環境にも配慮しつつ、駅や役所、福祉施設、病院など、視覚障害のある方々が日常的に利用される施設の周辺にある信号機を中心に整備を進めています。視覚障害のある方々と平素から接する機会の多い行政機関等と緊密に連携し、これらの要望の把握に努め、必要な場所に整備を進めてまいります。

県の答弁

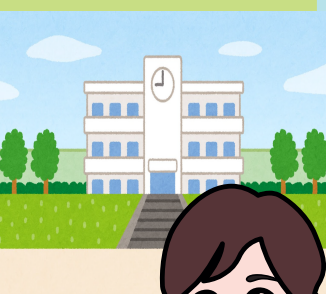


県立学校の校舎と設備の老朽化への対応を！



豊川特別支援学校の遊具に使用禁止のロープがはってあったり、国府高校の外壁が非常に老朽化していたり、数校訪問しましたが、校舎・設備の老朽化に十分対応できていないように感じます。子どもたちが毎日過ごす環境の改善に、もっと力を入れていくべきと考えます。

県立学校施設の整備は、これまで建物および体育館釣り天井の耐震対策や特別支援学校の過大化による教室不足に対応する新設校の整備を最優先に進めてきました。こうした中で維持修繕は緊急性の高い事案を優先して対応してきました。教育環境を保持するため、選択と集中を図り予算確保し、適正な維持管理に努めてまいります。



県の答弁

